

体験を通して

地域の食や農の

魅力を伝えよう

地域の資源や特性を活かした食農体験をコーディネートする  
食農体験ソムリエになりませんか



お問合せ先  
食農体験ネットワーク事務局  
(株式会社ブランド総合研究所)  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-5  
Tel: 03-3539-3011 Fax: 03-3539-3013  
Email: [nst@tiiki.jp](mailto:nst@tiiki.jp)  
担当: 山崎 (やまざき)

## ◆食農体験ソムリエとは

食農体験ソムリエとは、地域の資源や特性を活かしたプログラムを作成し、消費者に安全かつ有意義に伝えられるスキルをもつ者のことです。食農体験ソムリエになるためには、全国6か所の「基幹認証施設」にて、食農体験の研修(知識+実践)を受講し、認定を受ける必要があります。

※食農体験とは・・・その地域の農産品や食品、料理をより魅力的にし、その地域への愛着度を高める体験のこと

## ◆基幹認証研修施設(全国6か所)



### 資格の背景

近年、全国の農産物直売所や体験ファームなどで、食農体験が注目を集めています。

しかし、人材不足や集客力、体験の知識がないなどの課題があり、実践につながらないという声が多く聞かれました。

そこで、より安心・安全に地域の資源や特性を活かし食農体験を作成および提案できるスキルをもつ「食農体験ソムリエ」の養成研修を実施いたします。

この研修では、全国の先進的な食農体験に取り組む施設の食農体験担当者を講師に加え、各施設の事業の概要や取り組み、食農体験プログラムの成功事例の解説、接客における話法、いのちのつながる食についてなど、実践的でわかりやすいカリキュラムを学ぶことができます。

体験学習を実践されている方、今後始めてみようと思われる方はこの機会を是非ご活用ください。

◆詳しくは「研修実施日程一覧」をご参照の上、お問合せください。

## ◆食農体験ソムリエ研修実施日程一覧

※以下の研修の受講料は無料ですが、研修先までの交通費、宿泊費等はご負担いただきます。

【宮城県】 農業生産法人(有)伊豆沼農産 宮城県登米市迫町新田字前沼149-7

問合せTEL:0220-28-2986 担当:佐藤

### 【地域住民との連携】

ラムサール条約に登録されている伊豆沼のほとりで、地域一貫性にこだわった商品づくりをしている。また、地域住民と交流する食農体験や自然体験を行い、地域資源の価値の見える化に取り組んでいる。

第1回:2017年1月21日(土)~22日(日) 1泊2日

第2回:2017年2月18日(土)~19日(日) 1泊2日

【山口県】 楠こもれびの郷 山口県宇部市大字西万倉1662番地-1

問合せTEL:0836-67-2617 担当:河村

### 【行政との連携】

行政と連携し、農林業振興や都市と農村の交流などの地域活性に取り組んでいる。また、気軽に参加できる農業交流や料理教室など、家族で楽しめる体験を随時開催している。

第1回:2017年1月27日(金)

【福岡県】 食育体験ファーム ほっこり農園 福岡県遠賀郡岡垣町内浦526-6

問合せTEL:0120-489-806 担当:加悦

### 【食育・農業体験・環境教育プログラム】

学習塾と連携し、子供向けの地域資源を活用した食農体験に長年取り組んでいる。また、自社レストランや周辺施設で出た生ごみを堆肥化した循環型農業も行っている。

第1回:2017年1月27日(金)

第2回:2017年2月24日(金)

【長崎県】 おおむら夢ファームシュシュ 長崎県大村市弥勒寺町486

問合せTEL:0957-55-5288 担当:中島

### 【商品開発、グリーンツーリズムとの連携】

年間来場者49万人を誇り、様々なヒット商品を生み出し続けている農業複合施設。また、地域と連携したグリーンツーリズムの窓口となり、観光農園や農家民泊を推進している。

第1回:2017年1月23日(月)

第2回:2017年2月23日(木)

【沖縄県】 今帰仁の里 あいあいファーム 沖縄県国頭郡今帰仁村湧川369

問合せTEL:0980-51-5111 担当:阿部・前田

### 【6次産業化による廃校活用、インバウンドの取り組み】

地産地消の推進で農林水産大臣賞を受賞。学校跡地において、加工場と直売所、沖縄料理教室、宿泊施設、有機JAS認定農場での農業体験、地産地消の農家レストランなどを運営している。

第1回:2016年12月7日(水)

第2回:2017年2月1日(水)